

大用

四万十市

指定緊急避難場所及び指定避難所				
No.	施設・場所名	指定緊急避難場所	指定避難所	対象とする災害の種類
①	弘野集会所	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
②	大方誠心園	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
③	あったかふれあいセンター	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
④	田村集会所	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
⑤	加持本村集会所	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
⑥	コンピラサン	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
⑦	アグリ	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
⑧	関ノ下	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
⑨	高敷地の民家高台	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
⑩	鉄塔	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
⑪	西の窪	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
⑫	オンチガハナ	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
⑬	猪苗坂	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
⑭	田村神社（オウジサン）	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
⑮	三崎神社	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
⑯	高敷地の民家（ホキ）	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
⑰	古城（田村）	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
⑱	土取り場	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
⑲	空堀	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
⑳	竹島ツ	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
㉑	寺山（加持本村）	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
㉒	キオリヤマ	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
㉓	大方山	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
㉔	坂口	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
㉕	中山	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
㉖	あったかふれあいセンター北郷（旧北郷小学校）	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
㉗	大屋敷集会所	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
㉘	本谷集会所	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
㉙	大方川集会所	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
㉚	中馬荷集落センター	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
㉛	中馬荷集落センター	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
㉜	集落活動センターかきせ（旧馬荷小学校）	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
㉝	馬荷集落センター	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
㉞	大方橋川集会所	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
㉟	旧早岐保育所	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
㊱	早岐集会所	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
㊲	大方中学校	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
㊳	高知県立大方高等学校	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
㊴	大方中央保育所	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
㊵	あったかふれあいセンターにしきの広場	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
㊶	早岐地区津波避難タワー	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
㊷	馬荷山	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
㊸	たばこ乾燥場	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
㊹	大方中央保育所裏山	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波
㊺	入野集落公園	○	○	洪水 土砂災害 地震 津波

福祉避難所	
施設名	住所
大方誠心園	加持 33
あったかふれあいセンターにしきの広場	入野 5291-22

（地図の見方）

《施設等》

指定緊急避難場所

指定避難所

福祉避難所

ヘリポート

AED

医療救護所

町立学校・保育所

医療施設

駐在所

消防署・消防屯所

《津波浸水深区域》

0.3m未満

0.3m～1m未満

1m～2m未満

2m～3m未満

3m～5m未満

5m～10m未満

10m～15m未満

15m～20m未満

20m以上

約〇〇分 30cm津波到達時間
・避難行動がとれなくなる高さの津波到達時間
を示しています。

《土砂災害警戒区域》

急傾斜地 特別警戒区域

急傾斜地 警戒区域

土石流 特別警戒区域

土石流 警戒区域

【地形・構造物データ】

○浸水深の算出に用いた「地形（標高）データ」は、平成23年度時点の海岸における3D電子地図、基盤地図情報等をもとに作成しているため、その後の開発に伴う地形改変に伴い、土地の形状や地盤高が現況と異なっている場合があります。

○浸水深の算出に用いた「河川・海岸構造物データ」は、平成23年度時点の高知県の台帳等を基に既往データを修正及び新規にモデル化して作成しているため、その後の整備に伴い、現況と異なっている場合があります。

N

W

E

S

縮尺1:10,000

0 200 400m

浸水想定条件

このハザードマップに示す津波浸水深は、高知県が平成24年12月に公表した「高知県版第2弾）南海トラフ巨大地震による震度分布・津波浸水予測」によるものです。

想定地震	南海トラフの巨大地震
地震規模	マグニチュード9.1

津波予測における構造物の取り扱い

堤防	土で構築された堤防は、地震が起こった時点で地震前の高さの25%とする。また、津波が到達し始めた時点でなしとする。
防波堤	地盤により崩壊するとし、はじめから「なし」とする。
水門等	施設が崩壊化され、ゲートが自動落下対策済み、または増設前の施設は閉まっているとする。それ以外は開いているものとする。

●これよりも大きな津波が発生する可能性があります。
●浸水域や浸水深等は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所があります。
●浸水域や浸水深等は、地盤の凹凸や構造物の影響等により、浸水域外でも浸水が発生したり、局所的に浸水深がさらに大きくなったたりする場合があります。